

<成木の名前の由来?>

「成木」という地名は全国でも珍しいようです。似たような地名として、千葉県成田市には「成木新田(なるきしんでん)」と言う地名はあるようですが、「成木(なりき)」はなかなか見つかりません。ネットで検索しても出てきません。(もし「青梅市成木」以外で見つけた人はご連絡を)

【地名の由来】

「成木」の地名の由来は、諸説あるようですが、定かではありません。書物に出ている話で、それらしいものを紹介します。

○山間部の樹木の多さを反映したものであり、木々が豊かに生育することから。

○成熟した(よく育った)木が多く茂っていたことから。

○武蔵熊谷の人で、鎌倉初期の武将熊谷次郎直実は一の谷の戦で平敦盛を討ったことは平家物語で名高い。この熊谷の系統で成木太夫という官僚の住いが当地にあったことから。などがあります。どれも本当のようで判別はできませんが、康暦2年(1380)に書かれた下成木安楽寺所蔵の「大般若経奥書」に『成木郷』との地名が初めて表記されているようです。

伝承では、『常盤(ときわ)むかし話』(青梅市成木7丁目自治会常盤むかし話懇談会編集)に書かれています。要約すると、

“成木の山に一本の楠(くすのき)の老木があり、いつからか夜になると怪しい光を放ち、不気味な唸り声をあげるようになった。行基(ぎょうき)というお坊さんが噂を聞き、楠までやってきた。お坊さんが座禅を始めると、やがて楠は枝をゆさぶり、青白く輝き唸り声をあげた。するとその光の中に軍荼利明王(ぐんだりみょうおう)の姿が浮かびあがった。行基は明王の霊が宿っていると考え、像とした。つまり「鳴る木」⇒「成木」となった”

との言い伝えです。

補足:成木1丁目自治会館から安楽寺に向かう途中に仁王門があり、その奥のお堂に軍荼利明王が祀られています。普段は見ることはできませんが、成木一丁目の夏祭りの時に見ることができます。

【珍しい地名】

『成木』も珍しい地名と書きましたが、成木には読みづらい地名(今では地元の方しか使っていない言葉もあります)が他にもあります。

① 蜷沢… 8丁目 蜷沢院があります。

② 極指… 7丁目 高水山の北側、成木川源泉の黒山の麓あたりです。

③ 高土戸…7丁目 カーブのきついあたりです。

④ 天ヶ指…3丁目 成木小学校のあたりもこう呼びます。

⑤ 二本竹…3丁目 たくあん大根はここで栽培。

地名は難しいですね。そういえば「青梅」も「あおうめ」と読めますね。

【出典】常盤むかし話2004 青梅市史 1995

【監修】若林 博司

【地名の答え】①えびさわ ②きわざす ③たかつと(たかとり) ④あまがさす ⑤にほたけ